

山月記
■次の空欄を文章中の語句で補おう。

第一段
初め～P29 L5
李徴^{りちょう}と袁慆^{えんさん}の再会

李徴^⑦「才穎^{さいえい}だが、性は^④」。
↓若くして官吏になる。
賤吏^{せんり}に甘んずるを潔しとせず。
官を退き、^②「」を志す。
文名は揚がらず、^⑤「」に堪えかねる。
己の^③「」にも半ば絶望。
「」の職を奉ずる。
「」を傷つけられ、ついに^⑥「」。
異類の身^⑧「」に变身^⑨↓かつて親しかった袁慆との再会

第二段
P29 L6～P36 L4
李徴が虎になるまで（李徴の告白）

◆李徴が袁慆に語る物語 ↑ 叢^{くさむら}からの話し声
自分の中の^⑩「」が姿を消す。
…^⑪「」な行い。
⇔ 獣と人間の間を行き来 ↓ 徐々に人間でいる時間が短くなる。
「コ」の心が還^{かえ}る数時間。
…情けなく、恐ろしく、憤^{いら}らしい。
袁慆へ自分の詩^⑫の伝録を依頼
袁慆の感想 …「才は非凡だが、第一流の作品となるにはどこか欠ける」
【李徴の自己分析】
臆病な^⑬「」詩友に交わらず、世と離れる
「」な羞恥心 ↓ 内心同様、^⑭「」も虎となった
◆暁角の音 …夜明け⇨李徴が虎に還る時が近づく
李徴 …妻子の今後を頼む
→ 自らの詩業のほうを気にかけたことを^⑮「」する。

第三段
P36 L5～終わり
李徴と袁慆の別れ

●李徴のさらなる言葉
・帰途にこの道を通らないでほしい。
・丘から自分の姿を見てもらいたい。
袁慆が叢^{くさむら}に向かって別れの言葉を述べる ↓ 叢から^⑯「」の声
↓ 一匹の虎が二声三声咆哮^{ほうこう} ↓ 再び姿を見せなかった

山月記
■次の空欄を文章中の語句で補おう。

<p>第一段 初め～P29 L5 李徴^{りちよう}と袁^{えん}儔^{さん}の再会</p>	<p>第二段 P29 L6～P36 L4 李徴が虎になるまで（李徴の告白）</p>	<p>第三段 P36 L5～終わり 李徴と袁^{えん}儔^{さん}の別れ</p>
<p>李徴…⑦「博学」才^{さい}穎^{えい}だが、性は④「狷介」。 ↓若くして官吏になる。 賤吏^{せんり}に甘んずるを潔しとせず。 官を退き、②「詩家」を志す。 文名は揚がらず、⑤「貧窮」に堪えかねる。 己の③「詩業」にも半ば絶望。 ②「地方官吏」の職を奉ずる。 ⑤「自尊心」を傷つけられ、ついに⑥「発狂」。 異類の身②「虎」に変身↓かつて親しかった袁^{えん}儔^{さん}との再会</p>	<p>◆李徴が袁^{えん}儔^{さん}に語る物語 ↑ 叢^{くさむし}からの話し声 自分の中の②「人間」が姿を消す。 …④「残虐」な行い。 ⇔ 獣と人間の間を行き来 ↓ 徐々に人間でいる時間が短くなる。 「コ」の心が還^{かえ}る数時間。 …情けなく、恐ろしく、憤^いらしい。 ← ②「恐ろしく」感じる。 袁^{えん}儔^{さん}へ自分の詩の伝録を依頼 袁^{えん}儔^{さん}の感想 …「才は非凡だが、第一流の作品となるにはどこか欠ける」 【李徴の自己分析】 臆病な③「自尊心」 詩友に交わらず、世と離れる ③「尊大」な羞恥心 ↓ 内心同様、⑥「外形」も虎となった ◆暁角の音 …夜明け⇨李徴が虎に還る時が近づく 李徴 …妻子の今後を頼む → 自らの詩業のほうを気にかけたことを⑥「自嘲」する。</p>	<p>●李徴のさらなる言葉 ・帰途にこの道を通らないでほしい。 ・丘から自分の姿を見てもらいたい。 袁^{えん}儔^{さん}が叢^{くさむし}に向かって別れの言葉を述べる ↓ 叢^{くさむし}から⑥「悲泣」の声 ↓ 一匹の虎が二声三声咆哮^{ほうこう} ↓ 再び姿を見せなかった</p>